

Alexander Gadжиеv Piano Recital

Legend

—— 伝説が生まれる、その夜

アレクサンダー・
ガジエヴ
ピアノ・リサイタル

2025.11.11 (火) 19:00 開演
(18:30 開場)

東京オペラシティ コンサートホール

7:00p.m., Tuesday, November 11 at Tokyo Opera City Concert Hall
京王新線「初台駅」東口（直結）徒歩5分

© Vitoria Nazarova

Ticket

S席 6,500円 A席 5,000円 B席 4,000円 (全席指定)

※料金には消費税が含まれています。

予約・問い合わせ：チケットスペース (10:00-15:00 ※休業日除く)

03-3234-9999

<https://ticketspace.jp/>

チケットスペースオンライン | 検索

チケットぴあ：<https://pia.jp/> (Pコード 264-153)

イープラス：<https://eplus.jp/>

ローソンチケット：<https://l-tike.com/> (Lコード 32981)

東京オペラシティ チケットセンター：03-5353-9999

※チケットご購入後のキャンセル及び変更はできません。

※車いすのお客様はチケットご購入前にチケットスペース (03-3234-9999) までご連絡ください。

※やむをえず曲目などに変更が生じる場合がございます。

※未就学児のご入場はお断りしております。

Program

シューベルト：即興曲集 D935 から

Schubert : Impromptus D935

第1番 へ短調 No. 1 in F minor

第2番 変イ長調 No. 2 in A-flat major

第3番 変ロ長調 No. 3 in B-flat major

ショパン：バラード第4番 へ短調 op. 52

Chopin : Ballade No. 4 in F minor op. 52

チャイコフスキー：ドゥムカ op. 59

Tchaikovsky : Dumka op. 59

プロコフィエフ：10の小品 op. 12 から「伝説」

Prokofiev : Legend op. 12 No. 6

東の間の幻影 op. 22 から 第7、9、4、18番
Excerpts from vision fugitives op. 22, No. 7, 9, 4, 18

ピアノ・ソナタ第7番 変ロ長調 op. 83

「戦争ソナタ」

Piano Sonata No. 7 in B-flat major op. 83

※当初の予定から曲目の一部が変更になりました

主催：合同会社ノヴェレッテ <https://www.novellette-arts.com/>

協力：ナクス・ジャパン株式会社

ガジェヴの新境地、シューベルトの歌。
ショパン国際コンクールで聴き手の心をあれほどに
つかんだショパンのバラード。
そしてガジェヴが愛してやまない作曲家、
プロコフィエフへの愛が炸裂する一夜。

シューベルトとプロコフィエフの音楽は、意外にも相性が抜群！と僕は
かねてから考えていました。いずれも力強いリリズム(抒情性)を持ち味
とし、多彩な陰影や表情をきかせます。さらに、確固たる存在感を示す
“舞踊”が、重厚な情感に軽やかな気分を添えています。

僕にとって、プロコフィエフは最も色彩豊かな作曲家です。彼は、さまざまな
要素を、誰も思いつかないような斬新な切り口でひとつにまとめ上げます。
だからこそ彼の音楽は、つねに新鮮で、意表をつく組み合わせに富んで
いるのです。ピアノ・ソナタ第7番「戦争ソナタ」は、目覚ましいリズム、
美しいリリズム、独特な和声感を特長とする傑作。僕が愛してやまない
作品です。

皆さま、ぜひ聴きにいらしてください。

アレクサンダー・ガジェヴ
Alexander Gadjiev



© Vitoria Nazarova

アレクサンダー・ガジェヴ Alexander Gadjiev, Piano

2021年10月、第18回ショパン国際コンクールで第2位及びツィメルマン賞(ソナタ最優秀演奏賞)を受賞。同年7月には
シドニー国際コンクールで優勝。それ以前も2018年にモンテカルロのワールド・ピアノ・マスターズで優勝し、2015年には
浜松国際コンクールで優勝および聴衆賞を受賞している。

多様な人々・文化・言語がごく自然に交差しているイタリアのゴリツィアで生まれ、音楽と中央ヨーロッパの文化に囲まれた
幼少期はガジェヴの歩みを決定づける。父に師事し、9歳でオーケストラと初共演、10歳で初リサイタルを開いた。2013年、
17歳でイタリアの教育機関で最高評価を得た若手だけが競う「プレミオ・ヴェネツィア」での覇者となった後、出場するコンクールで
ほぼすべて優勝。2023年にはイタリアの権威あるアッピアーティ賞と、スロベニアのプレシェレン賞を受賞。そして2023/24年
からUnione Musicaleのアーティスト・イン・レジデンスを、また「ノヴァ・ゴリツィア / ゴリツィア欧州文化首都 2025」の文化大使
を務める。

これまでルイージ指揮/RAI国立響、ゲルギエフ指揮/マリインスキー劇場管、メータ指揮/フィレンツェ五月音楽祭管をはじめ、
指揮者ではテミルカーノフ、ヴィット、井上道義、高関健、広上淳一、山田和樹らと共演している。今年6月のウィーン楽友協会
でのスロベニア・フィルとの共演も大成功に終わった。2024年からは毎年ロンドンのウィグモアホールでリサイタルを行う。
ヴェルビエ音楽祭、オールドバラ音楽祭などにも参加している。

アレクサンダー・ガジェヴ 最新アルバム 9月19日発売予定

『伝説／ムソルグスキー：展覧会の絵 ほか』

ドビュッシー：沈める寺(前奏曲集第1巻)
ムソルグスキー：展覧会の絵
フランク：前奏曲、フーガと変奏曲 Op. 18
リスト：葬送(詩的で宗教的な調べ)
プロコフィエフ：伝説 Op. 12-6
スクリャービン：ピアノ・ソナタ第9番「黒ミサ」Op. 68、エチュード Op. 8-12
バッハ／ジロティ：前奏曲 口短調

アレクサンダー・ガジェヴ(ピアノ)

録音：2024年12月
NYCX-10547(日本語解説付き国内仕様盤)
3,300円(税込)
FUG849(輸入盤) オープン価格

輸入・販売元：ナクソス・ジャパン

